

だんだんと日差しが強くなってきましたが、子どもたちは天気の良い日には虫探しに出掛けたり、三輪車や追いかっこをしたりして戸外で過ごすことを楽しんでいます。また、友達が作った武器やステッキを見て同じようなものが欲しくなり、作ったり持って遊んだりすることで、“一緒”のうれしさを感じています。教師は一人一人の思いを受け止めつつ、いろいろな遊びを一緒に楽しむことで、自分なりの思いをもちながら教師や友達と同じように動いて遊ぶ楽しさを味わってほしいと思っています。



今年度のおたよりでは、努力点のテーマに沿って子どもたちの遊びの様子と遊びを通して育っていることについてお伝えしていきます。

努力点テーマ：“おもしろそう！” “やってみたい！” と主体的に遊ぶ幼児を目指して

～造形遊びを通して～

努力点とは、幼稚園全体として、どんな子どもたちに育てたいか、どんなことを大切にしていけるかを具体的に決めて取り組んでいくものです。今年度は、「造形遊び」に着目し、テーマを設定しました。環境・教材の工夫や教師の援助を研究することで、子どもたちが「おもしろそう」「やってみたい」と感じながら、自分らしく伸び伸びと表現する楽しさを味わっていけるようにしたいと考えています。

## 『どんな服にしようかな？』

好きな色や形の色紙をのりで貼って T シャツ製作を始めました。登園してすぐに“やってみたい”と思えるように、机の上にはのりと様々な色や形の色紙など製作に使うものを置いておくと、子どもたちは「これは何？お洋服？」「何色の服にしようかな」「ハートつけよう」などと、さっそく興味をもちました。自分の好きな色や形の材料を選び始め、自分なりに作ったり、隣に座った友達や教師と楽しく話しながら同じ形の色紙を貼ったりしました。

自分の T シャツが出来上がると、子どもたちはうれしそうに教師に見せてくれます。教師が「いっぱい貼ってあってかわいい服だね」「並んで貼ってあるのがおしゃれだね」などと子どもたちの作った T シャツの素敵なところを言葉にして認めると、子どもたちは教師に見てもらえてうれしそうにしたり、「これはネックレスなんだよ」と自分の思いを伝えたりします。また、保育室や廊下にひもを張って作ったものを飾れるようにすると、「ここにする！」と自分の好きな場所を見つけて洗濯ばさみで留めたり、友達の作った服がたくさん並ぶのを見て楽しんだりしています。

先生の見本通りに作るのがゴールではなく、自分でいろいろ考えたり工夫したりする経験が子どもの表現を豊かにします。そして、「いいのができた！」「おもしろい！」と思えることで、自己肯定感が育っていくことにつながります。これからは子どもたちが思わず“作ってみたい！”と思えるような製作や材料を取り入れていきたいと思えます。

くるくる…  
塗れたかな？



好きな形を  
選んで…

ハートの  
ボタン、  
かわいい  
でしょ♡



ここにも飾ろうよ！



見て見て！

